

■進級課目

(★)…隊長承認による履修細目

無印…班長承認による履修細目

□初級スカウト章

キーワード「仲間」

目標：初心者として、ハイキングやキャンプで自分のことが自分でできるようになる。

1.基本

- (1)「ちかい」と「おきて」が言える。そのうえで、隊長と話し合う。(★)
- (2)「スカウト章」「モットー」「スローガン」の意味を説明できる。
- (3)日本の国旗の正しい様式を知り、集会で掲揚柱に掲揚する。
- (4)「連盟歌」が歌える。
- (5)普段の集会で必要なもの(訓練用具)を知り、携行する。
- (6)スカウトサイン、敬礼、スカウトの握手ができる。

2.健康と発達

- (1)体温と脈拍を正しく測ることができる。

3.スカウト技能

- (1)自分の体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。
- (2)集会で使う身ぶり信号(気をつけ、休め、すわれ、分かれと集合隊形の各種サイン)、笛の合図を覚える。
- (3)ロープ結び
 - ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。
 - ア)本結び
 - イ)一重つぎ
 - ウ)ふた結び
 - エ)もやい結び
 - オ)8の字結び

4.善行

- (1)集会などで行う社会奉仕活動へ積極的に参加する。

5.信仰奨励

- (1)隊集会やキャンプ、ハイキングでスカウトタウン・サービスに参加する。

6.班長会議

- (1)初級スカウトとして進級することを、班長会議で認めてもらう。

□2級スカウト章

キーワード「ハイキング」

目標：班の中心として、ハイキングの計画・実施・報告ができるとともに、初級スカウトの指導ができる。

1.基本

- (1)「ちかい」と「おきて」について意味を説明でき、その実践に努力していることを隊長に認めてもらう。(★)
- (2)日本の国旗の意味、歴史、仕様を説明でき、班や隊の活動で国旗を正しく掲揚できる。
- (3)外国旗およびその国のスカウト章を5か国以上見分ける。

2.健康と発達

- (1)体温、脈拍と体調との関係について説明する。
- (2)救急法
 - ①日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当や対応を説明できる。
 - ア)鼻血
 - イ)目のちり
 - ウ)やけど
 - エ)指の切り傷
 - オ)立ちくらみ
 - カ)頭痛
 - キ)蜂、ダニ、毛虫などの虫さされ
 - ク)熱中症

②三角巾で他の人の頭、手、ひざ、足に包帯を巻き、腕を吊る方法を実演する。

③隊または班の安全係を3か月以上担当する。

3.スカウト技能

(1)ハイキング・読図

①16方位と方位角の呼び方を覚え、コンパスで進路を発見する。

②2万5千分の1地形図を用いて次のことをする。

ア) 図上に示された2つの地点の間の方位角、直線距離、標高差、道路に沿った歩行距離を読む。

イ) 真北と磁北の違いを説明する。

ウ) 500m(または1km)ごとの方眼を正確に書き入れた地形図により、6桁(または8桁)座標読みを行い、示された地点に到達する。

③三角点、水準点、標高点、等高線とは何かを知り、三角点または水準点の標石を発見する。

④10個以上の地形図記号を覚える。

⑤コンパスを用い、バックベアリングができる。

⑥地図とコンパスを用いた10km程度のハイキングを計画し、隊長の指名する2級以上のスカウト(但し、適任者がいない場合はベンチャースカウトも可)とともに、保護者の同意のもと実施し、報告する。このハイキングは、1.基本(1)および6.班長会議(1)以外の課目を終了した後、仕上げの課目として行う。(★)

(2)キャンピング

①次の野外料理を作る。

ア) 複数人数分の米飯および味噌汁

イ) 複数人数分の野菜、肉、魚、玉子を材料とした2種類以上の料理

②かま、なた、のこぎりを安全に使用でき、手入れと保管ができる。

③火口、焚き木、薪を作り、マッチ2本で火を起こし、500mlの水を沸騰させる。

(3)ロープ結び

①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。

ア) 巻き結び イ) ねじ結び ウ) 引きとけ結び エ) ちぢめ結び

オ) 腰掛け結び カ) てぐす結び キ) てこ結び ク) 張り綱結び

(4)観察

①食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。

②24個の小さな物を1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって答える。

(5)計測

①100mの距離を誤差5%以内で歩測する。

②スカウトペースで、2kmを15分で移動する。

③はかりや計量器を使わずに、1合の米、1ℓの水を15%以内の誤差で量る。

(6)通信

①片かな手旗信号で15の原画を理解し、10文字程度の語句を発信、受信できる。

②追跡記号を10種以上覚える。

4.奉仕

(1)デンコーチとして3か月以上の奉仕、または社会奉仕活動を3回以上実施する。

5.信仰奨励

(1)スカウトタウン・サービスで自分ができる役割を果たし、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、実践により感じたことを発表する。

6.班長会議

(1)初級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。

□ 1 級スカウト章

キーワード「キャンピング」

目標：ボーイスカウト活動の中心として、スカウトキャンプの計画・実施・報告ができ、スカウト技能全般を単独で実施できる。

1. 基本

- (1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常の生活で示す。(★)
- (2)姉妹都市または自分が興味を持っている2か国の民族、文化、通貨、言語を調べ、隊または班集会で話す。
- (3)日本の国旗と外国旗を併用して掲揚および設置する時の注意事項を知る。
- (4)半旗の意味と正しい掲揚の方法を知る。

2. 健康と発達

- (1)50m 泳ぐか 1,000m を走り、自己記録を更新できるように努力する。
- (2)水分や食物の補給が体調に与える影響を知り、体調を管理するための準備ができる。
- (3)救急法
 - ①班員1人と協力して急造担架を作り、実際に人を運ぶ。
 - ②直接圧迫止血法と間接圧迫止血法の違いを知り、直接圧迫止血法による応急処置ができる。

3. スカウト技能

(1) キャンピング

- ①班の炊事係として、2泊3日以上のカンピングの調理を担当する。
- ②自然物(石、木、竹等)を用いた、キャンピングに役立つ工作を1つ以上作成する。
- ③マッチに防水加工を施し、携帯用の防水容器に入れて提出する。
- ④連続5泊以上の、隊キャンピングか自団の隊または班で参加できる地区、県連盟、日本連盟のキャンピング大会に参加する。
- ⑤キャンピングにおける用便、ゴミ処理ならびに食料保管について、衛生上注意する点を知り、実践できる。
- ⑥1級旅行(1泊24時間以上のハイキング)の計画書を作成し、必要な個人装備を携行して隊長の指名するベンチャースカウト(但し適任者がいない場合は1級以上のスカウト)とともに、隊長より与えられた課題と方法によりキャンピングを行い、報告する。このキャンピングは、1.基本(1)および6.班長会議(1)以外の課目を終了した後に、仕上げの課目として行う。(★)

(2) ハイキング・読図

- ①日中、夜間においてコンパスを用いずに2種類の方法で方位を発見する。
- ②300m以上の距離に追跡記号を設置し班員を誘導する。
- ③クロスベアリングの手法を用い、地形図上で現在地を発見する。

(3) ロープ結び

- ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。

ア) 垣根結び	イ) よろい結び	ウ) バタフライノット
エ) 馬つなぎ	オ) からみ止め	カ) バックスプライス
キ) 角しばり	ク) はさみしばり	ケ) 筋かいしばり

(4) 観察

- ①樹木5種類以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。
- ②北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。
- ③身近にいる動物(ほ乳類・鳥類・魚類など)について観察し、報告する。

(5) 計測

- ①自作の簡易測量器具を用いて、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。
- ②簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離(長さ、高さ)を誤差10%以内で測る。
- ③ハイキングで野帳をつけ、その野帳によって略地図を作る。

(6)通信

- ①片かな手旗信号で 20 文字以上の文章を発信、受信できる。
- ②号笛を使って野外でできる簡単な通信ゲームを考え実施するか、号笛を使用した救難信号を覚える。

(7)技能章から、「ハイキング章」「スカウトソング章」を取得する。

4.奉仕

- (1)班での奉仕活動を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。(★)
- (2)自分の住んでいる地域にある 3 つ以上の施設へ案内ができる。

5.信仰奨励

- (1)隊集会やキャンプ、ハイキングで行うスカウトOWN・サービスで、主要な役割を果たす。

6.班長会議

- (1)2 級スカウトとして 3 か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。

□菊スカウト章

キーワード「模範」

目標：自分の隊・班で積極的に活動でき、他のスカウトの良き模範として、班長や上級班長等、責任ある行動と指導ができる。

1.基本

- (1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力して、他のスカウトの模範となる。(★)
- (2)班長や次長（グリーンバー）、またはジュニアリーダーとして隊運営に 6 か月以上携わる。
- (3)B-P のラストメッセージを読み、隊長とその内容について話しをする。(★)
- (4)外国のスカウトの「おきて」を調べる。できれば外国スカウトや指導者に直接教えてもらう。

2.健康と発達

- (1)5 分間泳ぐか 1,500m を走り、自己記録を更新できるように努力する。
- (2)救急法

- ①AED（自動体外式除細動器）について以下のことが説明できる。
ア) AED とは何か イ) どのような時に使用するか ウ) 使用の手順
- ②たばこ、アルコール、薬物が人体へ及ぼす害について知る。

3.スカウト技能

- (1)技能章から「野営章」「野外炊事章」「リーダーシップ章」を取得する。
- (2)班長や次長（グリーンバー）として班キャンプ、またはジュニアリーダーとして隊キャンプの計画を行い 1 泊以上の固定キャンプを実施し隊長に報告書を提出する。(★)

4.奉仕

- (1)団や地域で取り組んでいる奉仕活動に、4 日以上（1 日 1 時間以上）参加する。

5.信仰奨励

- (1)信仰奨励章を取得する。(★)

6.班長会議

- (1)1 級スカウトとして 4 か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。

□隼スカウト章

キーワード「冒険と奉仕」

目標：スカウト技能を役立てることができ、ジュニアリーダーとして基本的な隊運営の知識を有し、健全なる体と精神を身につける。

1.基本

(1) 菊スカウトとして最低6か月間、「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。

2.スカウト技能

(1) 自分を含めた2人以上のベンチャースカウトで、安全と衛生および環境に配慮した2泊3日以上の移動キャンプ（歩行距離20kmまたは自転車100km以上）を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。

(2) 次のスカウト技能のいずれかをボーイスカウト隊で指導する。

①計測 ②通信 ③ロープ結び

(3) 技能章から「救急章」「パイオニアリング章」を取得する。

3.スカウト精神

(1) 「スカウティング・フォア・ボーイズ」のキャンプファイア物語21、22および26を読み、内容について隊長と話し合う。

4.奉仕

(1) 他部門の活動へ6か月以上にわたり奉仕し、その実績を報告する。

(2) 社会的弱者（高齢者、障がい者等）への支援活動を積極的に行い、隊長に活動記録を提出する。

5.信仰

(1) 自分の所属または興味を持った教宗派の歴史と教えを知る。

(2) 自分の所属または興味を持った教宗派の宗教行事について知る。

6.成長と貢献

(1) チームプロジェクトのチーフか主要な役割としてプロジェクトを計画、実施し、隊長に報告書を提出する。または、3泊4日以上の子隊キャンプの実施計画を作成し、実際に運営を行い、隊長に報告する。

□富士スカウト章

キーワード「リーダーシップ」

目標：プロジェクトの計画・実施・報告ができ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるリーダーとなる資質を身につける。

1.基本

(1) 隼スカウトとして最低6か月間、「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。

(2) 現在の自分の考えと将来の進路についてまとめ、その内容について隊長と話し合う。

2.スカウト技能

(1) 技能章から「野営管理章」「公民章」を取得し、技能章を合計15個以上取得する。

(2) 自ら設定する課題により、2泊3日の単独キャンプ（固定または移動）を計画し、隊長の承認を得て実施後、評価を報告書にまとめ隊長へ提出する。

3.スカウト精神

(1) 「スカウティング・フォア・ボーイズ」を読み、感想文を提出する。

4.奉仕

(1) 地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て実施、報告する。

(2) 地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。

(3) 奉仕の意義について理解し、自身が今後の人生においてどのように社会に対して奉仕、貢献で

きるかを文章にまとめ隊長と話し合う。

5.信仰

(1)宗教章を取得するか、取得に対して努力したことを隊長に認めてもらう。

6.成長と貢献

(1)隼スカウトとして自己の成長と社会に役立つための課題を設定し、個人プロジェクト（研究、製作、実験など）を自ら企画して隊長の承認を得た上で、少なくとも1か月以上にわたって実施、完結させ、隊長に企画書、計画書、および報告書を提出する。